

総務委員会資料

平成24年5月16日

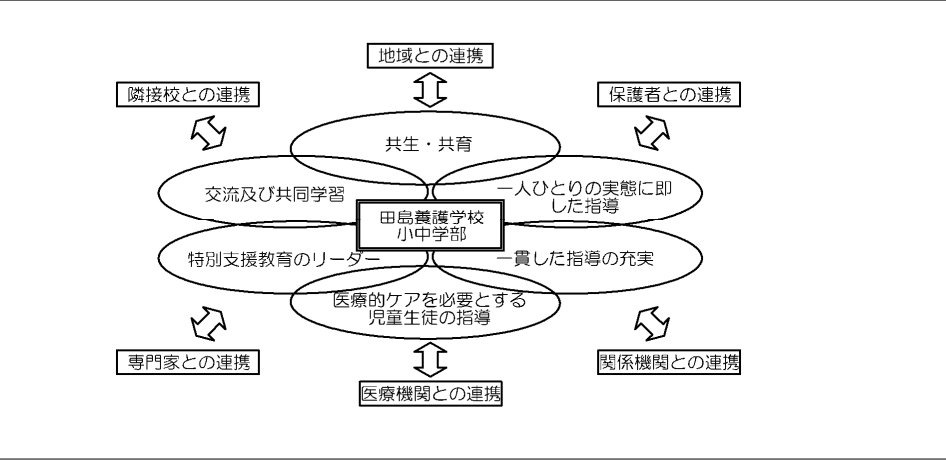
市立田島養護学校再編整備の進捗状況について

教育委員会

【概要】

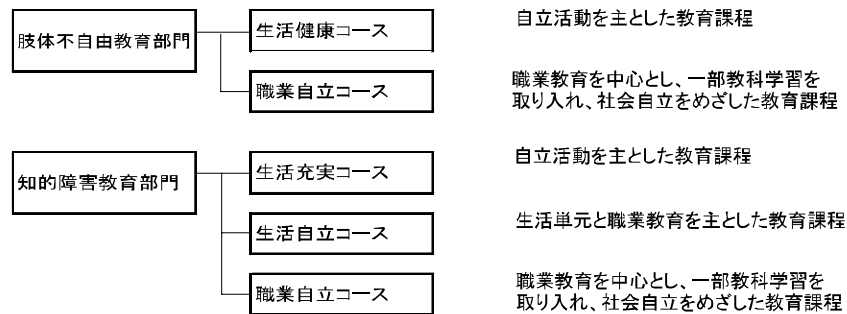
「田島養護学校再編整備方針」及び「桜本小学校・東桜本小学校統合に伴う学校跡地活用方針」に基づき、校地・校舎の狭隘化解消に向けた教育環境整備を図るとともに、地域に開かれ、障害の重度重複化・多様化に対応した「知肢併置特別支援学校」を実現する。

【新しい田島養護学校 小中学部】



【新しい田島養護学校 高等部】

- ◎社会に、地域に、卒業生に発信する学校
- ◎社会と、地域と、卒業生と繋がる学校



【事業スケジュール】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小中学部 (旧東桜本小学校跡地)	基本・実施設計	仮設設置	仮設校舎 供用開始	供用開始 外構工事 仮設解体
高等部 (現田島養護学校)		引越	小学部解体	全面供用開始
			改築工事・外構工事	

【位置図】



建物概要

構造・規模：RC造・4階建
高さ：15.87m
敷地面積：9,341.00㎡
建築面積：3,171.73㎡
グランド面積：2,899㎡
校舎延床面積：7,638.36㎡
内体育館面積：748.40㎡

＜様々な障害に配慮した施設＞

- 車椅子対応
段差の解消
通路部全てに手摺
下部開放等の手洗い
廊下幅の確保
- 体温調節に配慮
全館空調
床暖房設備

- その他
家具等の面取り
全トイレに非常用
呼び出し鈴
多様な水栓・手摺
バリアフリーサッシ
紫外線カット
(窓、蛍光灯)



車椅子でも利用し易く
体格差にも配慮した
下部開放、高さ2種の手洗



＜肢体不自由部門に配慮したゾーニング＞

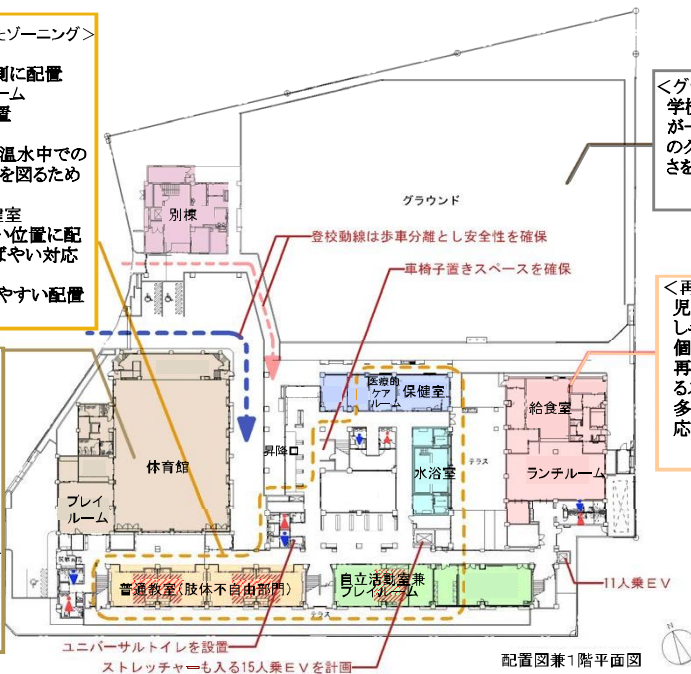
- 普通教室
日照、採光が良好な南側に配置
- 自立活動室兼プレイルーム
普通教室に隣接して配置
- 水浴室
肢体不自由児童生徒の温水中での
自立活動や情緒の安定を図るための
温水施設
- 医療的ケアルーム・保健室
普通教室、昇降口に近い位置に配置し、体調の変化にすばやに対応
が可能。
緊急車両への搬送がしやすい配置

＜体育館＞

- ・既存体育館のステージ
を車椅子で上がれるように、
高さを30cmに改修
- ・空調設備を導入
- ・地域開放の継続

＜プレイルーム＞

- ・体育館と隣接し、学習発表会等の行事にも一体として活用可能

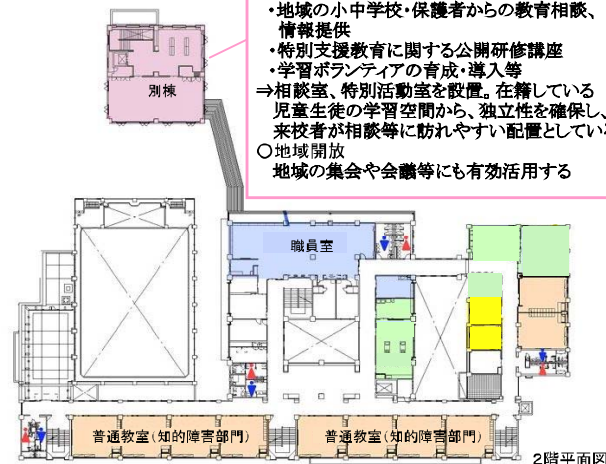


＜グラウンド＞
学校の活動や地域開放
が十分行えるよう、既存
のグラウンドと同等の広
さを確保

＜再調理機器の設置＞
児童生徒によって咀嚼
しやく、飲みこみ等に
個人差があるため、
再調理機器を設置する
スペースを確保し、
多様な調理内容に対応
する

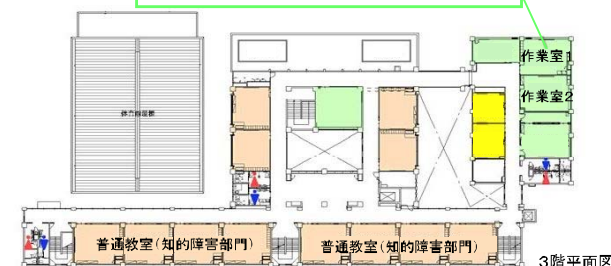
＜地域のセンター的機能の強化＞

- 地域支援部のセンター的役割
- ・地域の小中学校・保護者からの教育相談、
情報提供
- ・特別支援教育に関する公開研修講座
- ・学習ボランティアの育成・導入等
⇒相談室、特別活動室を設置。在籍している
児童生徒の学習空間から、独立性を確保し、
来校者が相談等に訪れやすい配置としている
- 地域開放
地域の集会や会議等にも有効活用する



＜作業室＞

領域・教科を合わせた指導として、様々な体験
を通じて、見通しを立てて物事に取り組む姿勢
等を養う。
洗濯や、リサイクル等の作業を想定



＜屋上遊具広場＞

遊具(滑り台、ブランコ)を配置し、床には
クッションゴム材を採用。
周囲には高さ1.8mのフェンスを設置し、
教員付き添いのもと使用

＜プール＞

- ・入水用スロープを設置
- ・小中学部、高等部の体育で
使用



＜多様な仕様のトイレ＞



トイレの一面にシャワーコーナー



多様な介護が可能な
ユニバーサルトイレ



小柄な小学部対応の低いトイレ



オストメイト対応の機器

- 部門別凡例
- 職員室・校長室
 - 保健室・医療ケア
 - 普通教室
 - 特別教室
 - 個別学習室兼更衣室
 - ランチ給食関係
 - 水浴室・プール
 - 体育館・プレイルーム
 - 屋上遊具広場
 - 別棟

凡例

- 徒歩通学動線
- 車通動線
- 床暖房エリア
- トイレ

建物概要

- 構造・規模：RC造・4階建
- 高さ：15.4m
- 敷地面積：7,315.52㎡
- 建築面積：3,177.56㎡
- グランド面積：1,930㎡
- 校舎延床面積：8,291.70㎡
- 内体育館面積：809.50㎡

＜様々な障害に配慮した施設＞

- 車椅子対応
段差の解消
通路部全てに手摺
下部開放等の手洗い
廊下幅の確保
- 体温調節に配慮
全館空調
床暖房設備
- その他
家具等の面取り
全トイレに非常用呼び出し紐
多様な水栓・手摺
バリアフリーサッシ
紫外線カット(窓、蛍光灯)



＜再調理機器の設置＞

- 生徒によって咀嚼、のみこみ等に個人差があるため、再調理機器を設置し、多様な調理内容に対応する

＜肢体不自由部門に配慮したゾーニング＞

- 普通教室
日照、採光が良好な南側に配置
- 自立活動室・プレイルーム
普通教室に隣接して配置
- 水浴室
肢体不自由児童生徒の温水中での自立活動や情緒の安定を図るための温水施設
- 医療的ケアルーム・保健室
普通教室、昇降口に近い位置に配置し、体調の変化にすばやい対応が可能。
緊急車両への搬送がしやすい配置

＜相談室＞

- 就労支援・卒業生支援
地域の障害者及び卒業生の就労相談

＜メモリアルラウンジ(待合コーナー)＞

- ・旧校舎の思い出を展示
- ・相談者の待合スペースとして、就労関連情報を展示



配置図兼1階平面図

＜地域ふれあいルーム・調理実習室＞

- ・地域ふれあいルームには、パンの製造・販売や喫茶コーナーを設置
- ・ベーカリーと喫茶の施設は、社会福祉法人による本格的な運営を検討している
- ・田島養護学校の高等部生徒が職場実習を行う

- 社会と、地域と、卒業生が繋がる学校
- ・地域ふれあいルームの喫茶コーナーは、地域の方々や卒業生が気軽に訪れ、利用することで、ふれあいの場となる
- ・障害のある方々や田島養護学校の生徒が働く姿を目にすることで、田島養護学校を知ってもらえる機会となるとともに、地域の障害者理解を推進する拠点となる

- 本格的な職業学習
- ・調理実習室では、本格的なパンの製造を通して働く姿勢を養う
- ・販売や接客を実践的に体験することで、就労に結びつく接客マナー、身だしなみ、コミュニケーション能力等を養うことができる

＜体育館＞

- ・空調設備を設置
- ・ステージを使用しないときは収納して、アリーナ部分を広くとれる計画

部門別凡例

- 職員室・校長室
- 保健室・医療ケア
- 普通教室
- 特別教室
- ランチ給食関係
- 水浴室
- 体育館
- 菜園・温室・園芸倉庫
- メモリアルラウンジ

凡例

- 歩歩通学動線
- 車両動線
- 床暖房エリア
- トイレ

＜多様な仕様のトイレ＞



トイレの一面にシャワーコーナー



多様な介護が可能なユニバーサルトイレ



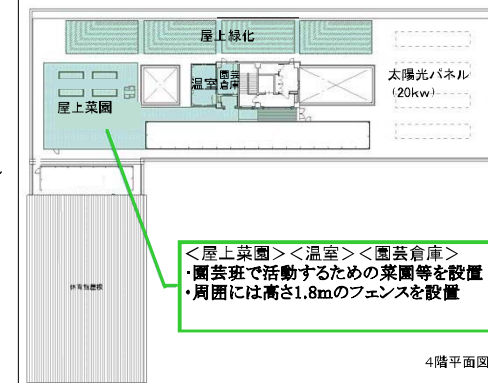
オストメイト対応の機器



2階平面図



3階平面図



4階平面図

＜作業学習室・特別教室＞

- ・陶工室、手工芸室、ネイチャーラフト室、技術室、織物室、コンピュータ・流通サービス教室を配置
- ・作業を通じて、手指機能の向上、作業の見通し、報告、指示理解等を学習
- ◎生徒の作った製品は、地域ふれあいルームで常時販売する
- ◎コンピュータ・流通サービス教室では、ベーカリー、喫茶の広告や値札等を作成し、職業学習との関連付けを行う

＜作業学習室・特別教室＞

- ・家庭科室、美術室、音楽室、ビルクリーニング室、園芸室、ファッションラフト室を配置
- ・作業を通じて、手指機能の向上、作業の見通し、報告、指示理解等を学習

＜屋上菜園＞＜温室＞＜園芸倉庫＞

- ・園芸班で活動するための菜園等を設置
- ・周囲には高さ1.8mのフェンスを設置

■屋上菜園、屋上緑化

4階屋上に約24㎡の屋上菜園を設置します。
2階テラスに約65㎡の屋上緑化を行います。

■緑のカーテン

校舎南面の1階普通教室前は、つる性植物用の網をかけられるようにします。

■雨水利用

雨水を直接タンクに溜め、植栽散水用に利用。
雨水貯留タンク約0.45tを設置します。

■屋上・外壁の断熱化

屋上・外壁に断熱効果の高い建材を使用し、熱負荷の軽減を図ります。

■複層ガラス

既存校舎についても、サッシ枠を活かした上で複層ガラスに交換し、熱負荷の軽減を図ります。

■自然採光、自然通風

光庭の設置や、効果的な窓の配置により、自然採光、自然通風に配慮した平面計画としています。

■太陽光発電装置

屋上に太陽光発電装置を20kw設置します。停電時、体育館、職員室のコンセントの利用が可能です。昇降口にディスプレイパネルを設置します。

■屋上菜園、屋上緑化

屋上に屋上菜園約27㎡、屋上緑化約300㎡を計画。
屋上緑化には自動灌水装置を設置します。

■緑のカーテン

校舎南面の1階普通教室前は、つる性植物用の網をかけられるようにします。

■屋上・外壁の断熱化

屋上・外壁に断熱効果の高い建材を使用し、熱負荷の軽減を図ります。

■複層ガラス

学校全体に複層ガラスを採用し、熱負荷の軽減を図ります。

■自然採光、自然通風

光庭の設置や、効果的な窓の配置により、自然採光、自然通風に配慮した平面計画としています。

■太陽光発電装置

屋上に太陽光発電装置を20kw設置します。停電時、体育館、職員室のコンセントの利用が可能です。昇降口にディスプレイパネルを設置します。



小中学部

その他 小中学部、高等部
共通の環境対策事項

■内装の木質化

教室、廊下に木の腰壁を設置します。
キックガードとしての役割を果たします。

■節水機能

節水型の衛生機器を採用します。

■ナイトバージ

夏場、夜間の温度の低い外気を取り入れ、昼間の建物に蓄積された熱を排出することで、空調負荷を軽減する機能を付加した空調機を採用します。



高等部

■省エネ設備機器

- 高効率な省エネ機器を採用
- ・従来機器に比べ約20%ガス使用量を削減できるガスヒートポンプ空調機を採用します。
- ・従来機器に比べ約15%ガス使用量を削減できる瞬間湯沸器を採用します。

■照明関係

- 長寿命なLED照明を一部採用
- ・ダウンライトや外構照明(タイマー制御)使用します。
- トイレに人感センサー照明を採用
- ・利用時間の長い障害者用に時間の調整も可能です。
- 屋光センサー照明を採用
- ・教室の南側の照明に設置します。
- 初期照度補正型照明器具を採用
- ・従来器具に比べ約15%の電力削減が可能です。

1. 既存建物の有効利用

- ①新耐震基準に適合した校舎、体育館を有効に利用。既存体育館は直天井のため天井材の落下の心配はありません。
- ②改築する建物も含めガラスは飛散防止フィルム貼りを学校全体の標準仕様とします。

2. マンホールトイレを設置

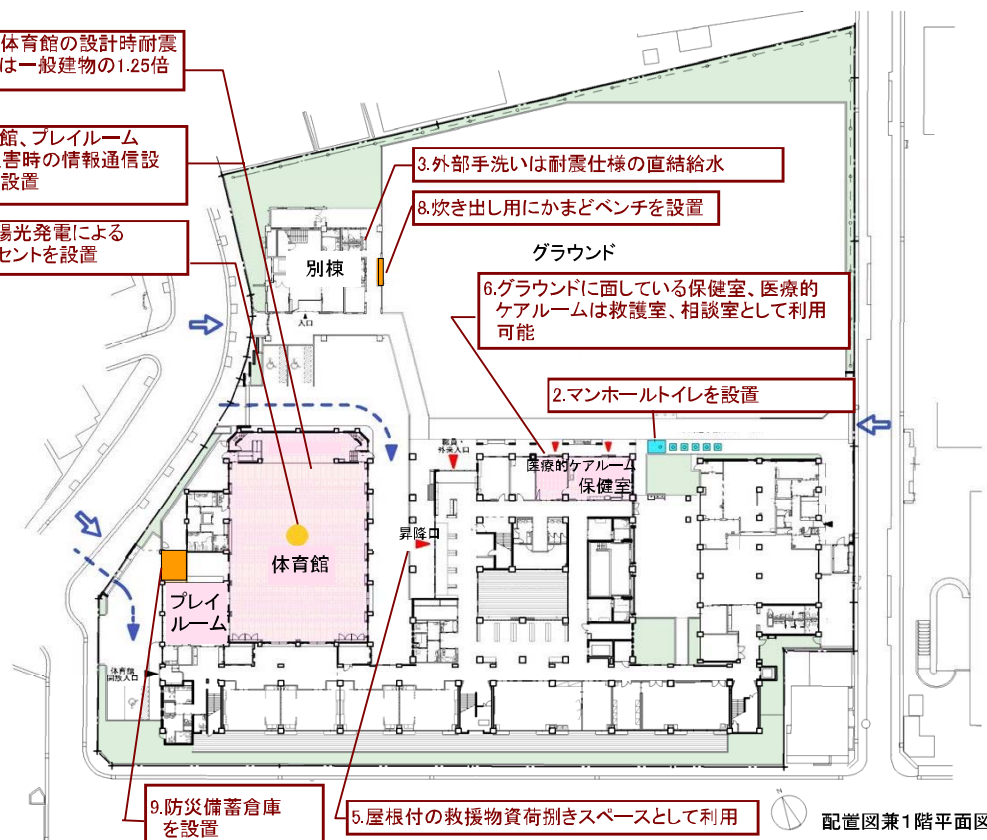
- ①マンホールトイレを污水排水下流側に設置します。
- ②トイレ・テントセット(備品)は倉庫等に保管します。



1.既存体育館の設計時耐震強度は一般建物の1.25倍

7.体育館、プレイルームに災害時の情報通信設備を設置

10.太陽光発電によるコンセントを設置



3. 飲料水の確保

- ①別棟の外部手洗いを耐震仕様の直結給水とします。(耐震化完了した本管からの直結給水)
- ②防災備蓄倉庫を活用

4. 非常用発電機を設置

- ①消防設備用として法的に必要な容量以上の非常用発電機を設けます。
- ②発電した電気は、医療的ケアルーム、保健室、職員室、体育館の夜間照明、医療機器、情報機器等に使用可能です。
- ③燃料を補充することにより継続使用が可能です。
- ④水災害に備え、非常用発電機は屋上階に配置します。

5. 救援物資受入用荷捌スペースを確保

通常時利用している屋根付きの車寄せは、救援物資の荷捌スペースとしても有効に利用可能です。

6. 救護動線に配慮

保健室、医療的ケアルームは救援や相談機能としての運用を想定し、広いグラウンド側から直接出入可能な位置に配置しています。

7. 体育館、プレイルームに災害時の情報通信設備を設置

8. かまどベンチを設置

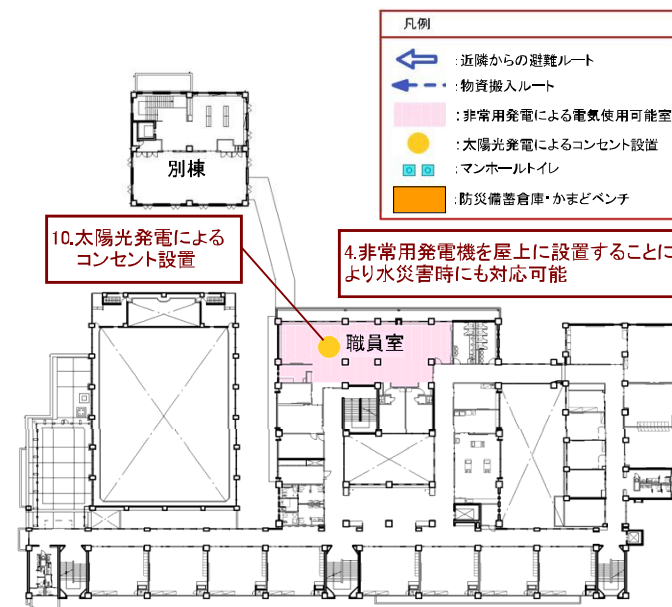
かまどベンチを別棟グラウンド側に設置



9. 防災備蓄倉庫を設置

10. 太陽光発電装置の設置

屋上に20kwを設置します。停電時、体育館、職員室のコンセントの利用が可能。



2階平面図

1. 耐震強度を十分確保

避難所となることを想定して、体育館棟の耐震強度を、通常の建物の1.5倍にするこ
とにより、大地震のときにも損傷がほとんどなく、継続使用ができる建物とします。

2. マンホールトイレを設置

- ①マンホールトイレを汚水排水下流側に設置します。
- ②トイレ・テントセット(備品)は倉庫等に保管します。



3. 飲料水の確保

受水槽(13t)を設置します。

4. 非常用発電機を設置

- ①消防設備用として法的に必要な容量以上の非常用発電機を設けます。
- ②発電した電気は、医療的ケアルーム、保健室、職員室、体育館の夜間照明、医療機器、情報機器等に使用可能です。
- ③燃料を補充することにより継続使用が可能です。
- ④水災害に備え、非常用発電機は屋上階に配置します。

5. 救援物資受入用荷捌スペースを確保

通常時利用している屋根付きの車寄せは、救援物資の荷捌スペースとしても有効に利用可能です。

6. 救護動線に配慮

保健室、医療的ケアルームは救援や相談機能としての運用を想定し、広いグラウンド側から直接出入可能な位置に配置しています。

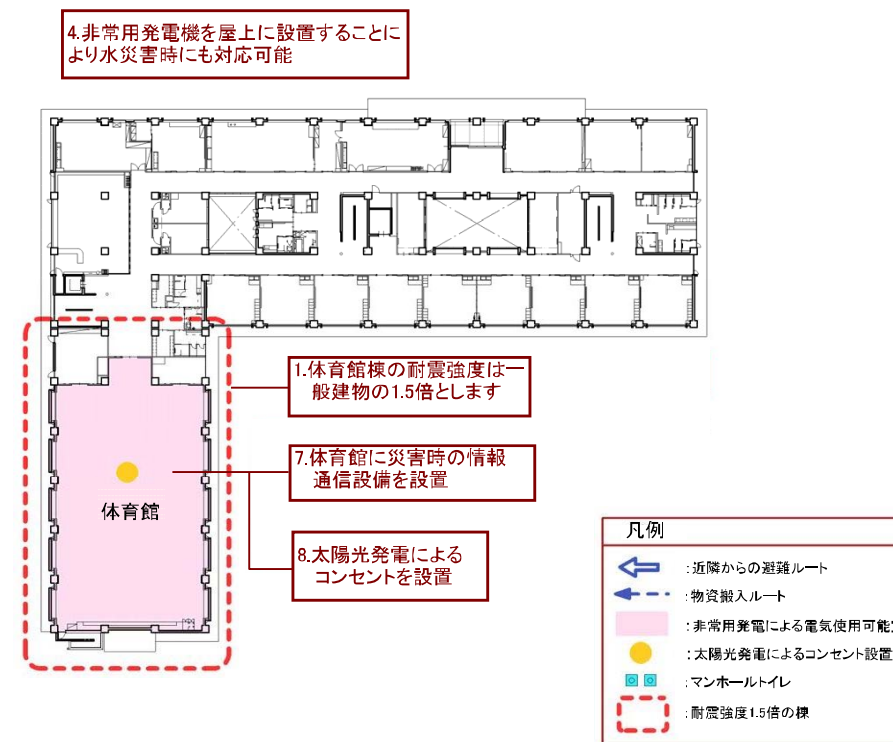
7. 体育館に災害時の情報通信設備を設置

8. 太陽光発電装置の設置

屋上に20kwを設置します。停電時、体育館、職員室のコンセントの利用が可能です。



配置図兼1階平面図



2階平面図

